

環境を重視した「工事成績評定」の取扱いについて

NEXCO 東日本では、環境への取り組みを経営の重要課題と位置づけ、地球環境の保全や循環型社会の形成に向けた取り組みを進めておりますが、京都議定書目標達成計画(H20.3 改訂)を受け、より二酸化炭素(CO₂)排出削減に取り組むため、工事における請負人の工夫による「混合セメント(高炉セメント[1]、フライアッシュセメント[2])の使用」や「低燃費型建設機械[3]の使用」を『工事成績評定』において、評価することとしましたので、お知らせします。

【参考】

- 1：高炉セメントとは、普通のセメント(普通ポルトランドセメント)に銑鉄の製造時に副産物として発生する“高炉スラグ”を混合して製造したセメント(二酸化炭素排出量は、普通ポルトランドセメントの製造時と比較して約40%削減されます。)
- 2：フライアッシュセメントは、普通のセメントに火力発電所などのボイラーの燃焼排ガス中から回収された、微細な石炭灰である「フライアッシュ」を混合したセメント
- 3：「CO₂排出低減に資する低燃費型建設機械の指定に関する規程」(平成19年11月2日 国土交通省総合政策局建設施工企画課長)に基づき型式認定された建設機械